

北九州市立志井ファミリープール 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和5年2月1日（水） 13:15～14:50
- 2 場 所 北九州市役所（小倉北区内1番1号） 7階 72会議室
- 3 出席者 （検討会構成員）薛構成員（座長）、松木構成員、城水構成員、横田構成員、植田構成員（事務局）建設局公園緑地部長、公園管理課長、公園管理課経営係長、職員
- 4 会議内容
 - 当日のスケジュール、審査にあたっての留意点、審査結果の公表等について事務局より説明。
 - 構成員の互選により、座長を選出。

○応募団体（ACEスギナプラス共同事業体）より提案概要に関してヒアリング

- （構成員） SNSの積極的な活用を提案の目玉としているが、メディアの種類や活用法、フォロワー数の目標などはあるか。担当などはどう考えているか。
- （応募団体） 使うメディアによってコアユーザーが異なる。そこにフォーカスしていく。公式SNSの限界もあるため、つながりのあるインフルエンサーの発信力なども活用する。SNSと写真は切り離せないが、プールということで繊細な取り扱いが必要。園内に撮影可能エリアを設置、映して投稿したい人と、映り込みたくない人、双方が満足する時代に合わせた取り組みが必要。
- （構成員） SNSは営業期間外も発信するのか。
- （応募団体） 営業期間でなく、1年間で広報活動は考えている。SNSも通年で行う。
- （構成員） 臨時アトラクションとはどういったものか。
- （応募団体） スライダー休止に代わるエア遊具。仮設スライダーや浮島。ただ、プールの上にエア遊具を浮かべるのは死亡事故などのリスクが高い。安全性に配慮したものを導入する。
- （構成員） 臨時アトラクション収入の算定は適正か？
- （応募団体） 導入実績のあったアトラクションからその半額ほどとして算定している。
- （構成員） プール営業期間外の施設活用や、周辺施設との連携など、チャレンジングな取り組みが多い。志井ファミリープールをどういう施設ととらえているか。どのように運営していくか。
- （応募団体） 北九州唯一のレジャープール、この機能は残していきたい。
あとは、（サウンディングの結果出てきた可能性、）キッチンカーイベントであったり、グランピングであったり、地域住民等の気持であるとか、毛色の違うことも取り組んでいきたい。可能性を広げて、将来どういう施設を目指すべきか、皆さんと一緒に探っていきたい。
- （構成員） 現場スタッフをそのまま働いていただくということだったが、どのようにしていくか。
- （応募団体） 志井ファミリープールでの実務経験豊富なスタッフを、今後こちらの団体で臨時的に雇用する予定である。

- (構成員) 木屋瀬プールの運営経験があるといったことだが、安全で安定的なプールの管理運営のため、その強みを生かせるか。
- (応募団体) 木屋瀬プールも老朽化しており、機械のメンテナンスなど老朽化した機械の取扱いに強みがある。プールの安全管理なども木屋瀬では安全に運営していた。そのノウハウは生かせると思う。
- (構成員) 駐車場の環境は良くなるか。
- (応募団体) 今用意できている分は用意する。
実際、駐車台数を増やすのは難しい。公共交通機関を利用するよう働きかけていきたい、
- (構成員) 提案の朝活のイベント等で利用料はとるか。
- (応募団体) 目的外使用にあたり、指定管理者も使用料を納めなければならないため、基本的には、料金は取る。
- (構成員) グランピング、サウナ等の実現可能性は？
- (応募団体) テントサウナが実現可能性が高いのではないか。
- (構成員) 観光客がふらっと来れるような取り組みはいいと思う。企業との連携以外に、どんなことを行うか。
- (応募団体) 観光で北九州に来る人は通過型がどうしても多い。フォロワーを抱えるインフルエンサーに発信依頼を行う。口コミも重視、手ぶらで行けることを浸透させていく。目に留まるウィットにとんだSNS活用も必要だと思う。有料SNS広告も行いたいと思う。
- (構成員) 障害者授産施設への再委託も考えているとのことだが、具体的にはどのような業務を考えているか。
- (応募団体) 私の団体で障害者授産施設へは健康指導に行っていて、つながりがある。チケットのもぎり、清掃等できるところをやっていただくことを考えている。

○構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入。

○構成員は、審査項目「指定管理者としての適性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

- (構成員) ACEスギナプラス共同事業体は、理念、実績、人的経験基盤が一定のレベルであると評価できる。
- (構成員) 審査の結果、指定管理者としての適性については、現在の評価レベルでよいか。
- (全構成員) よい。

(全構成員) 検討会の評価レベルは、

- ACEスギナプラス共同事業体は、「管理運営の理念」、の項目が4、「人的・財政基盤」、「実績・経験」が3 が妥当であるとする。

○構成員は、審査項目「有効性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

(構成員) ACEスギナプラス共同事業体は、異なる分野の事業者がJVを組むことによって双方の良さを生かしたチャレンジングな取り組みや、SNS活用への意欲などは評価できる。

(構成員) 提案では、利用者の評価点・不満点などの改善への意識が弱いと感じた。またホームページは施設への入り口となる部分なので、改善してほしい。

(全構成員) 検討会の評価レベルは、

■ACEスギナプラス共同事業体は、「設置目的の達成」、「利用者の満足度」の項目が3が妥当であるとする。

○構成員は、審査項目「効率性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

(構成員) ACEスギナプラス共同事業体は、新しく運営を行うに当たり、利用者数や収入など過大に見積らない収支計画を作成して、安定的な運営が期待できる。

(全構成員) 検討会の評価レベルは、

■ACEスギナプラス共同事業体は、「指定管理料及び収入」、「収支計画の妥当性及び実現可能性」の項目が3が妥当であるとする。

○構成員は、審査項目「適正性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

(構成員) ACEスギナプラス共同事業体は、志井ファミリープールでの実務経験豊富なスタッフを引雇用予定である点を評価した。安全確保の観点からも評価できる。

(全構成員) 検討会の評価レベルは、

■ACEスギナプラス共同事業体は、「管理運営体制」の項目が3、「平等利用・安全対策・危機管理体制」の項目が3が妥当であるとする。

○構成員は、次のとおり検討会としての検討結果をとりまとめた。

ACEスギナプラス共同事業体は、プール運営に一定の経験があり、これまでの現場スタッフを引き続き雇用する予定としており、安定的かつ安全なプールの運営が期待できる。

また、アトラクション、イベント等についてはチャレンジングな提案を行っており、レジャープールならではの「ワクワク」感の創出も期待できる。

審査の結果、検討会としてはACEスギナプラス共同事業体が指定管理者の候補として相応しいとする。

○とりまとめを行って、検討会を終了した。